



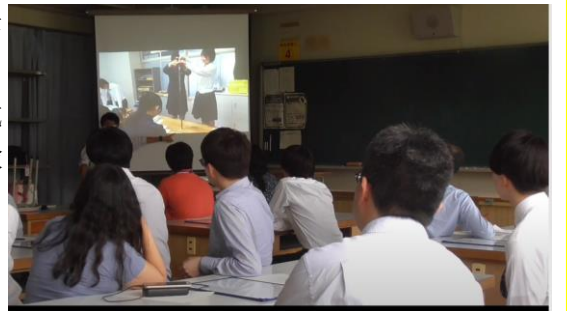
授業実践 ～物理探究実験～

小原崇裕 教諭 3年探究理科 (物理選択)

物理の波動分野である『光の干渉』という単元での実践報告をしました。物理探究実験では、教員が与えた【問い】に対して、生徒が協働して考える過程そのものに焦点を当てることを目的としています。生徒たちは理論を理解している状態で、実験を自分たちで組み立てていきます。回折された光を紙に当てたり、高さを確保するため、実験台に光源をくくり付けたりしていました。

実験の間、生徒たちの表情は明るく『うーん、わからない。難しい!』『あ! そっちの方が効率いいな!』という声が多く、班から聞こえてきました。このように感情を揺さぶる取り組みは効果が高く感じられたため、これからも続けていきます。

反省点としては、この取り組みでは生徒のまとめレポートは作成しておらず、非常にもったいなかったとのことでした。今後は実験で終わらせるのではなく、どのようなことがわかったかをまとめるように取り組んでいきます。



交流会 自走～理想と現実～

今回の交流会のテーマは『自走』をテーマに話し合いを行いました。4月の第1回のPT会議での『生徒を自走させるにはどうしたらよいか』について知りたい、との声を受け、本校の生徒の①現状②理想③ギャップの3点に渡って話し合いました。話し合いの中では、『キャリア教育の重要性』など様々な視点から、自走についてのアイデアを共有しました。個人的に最も印象的だったのは、『生徒にタイムリーさせる(受験に失敗した後の自分をイメージさせる)ことが最も自走につながるのではないか』というものでした。次のPT会議では、今回上がった課題を中心に、自走に対して深掘りをしていきます!



遠藤先生ご講評

5月のPT会議では福井大学准教授・遠藤貴広先生も参加してくださりました。交流会で行なった、『生徒の理想と現実』の共有は教科の単元でも考えてみると良い等といったアドバイスをしてくださりました。また、今回は教育実習生も会議に参加しており、ここまで手厚い研修をする学校はないとご講評いただきました。

武生高校では優れた実践を行っている先生方がたくさんいらっしゃいます。そのような実践や手法を共有する場を今年度も継続的に整えていきたいと思っております。

本校での授業実践を通し、生徒の人生に教養という名の彩りを添えられるようPTのメンバーを中心に、授業改善を進めていきたいです。(松田)